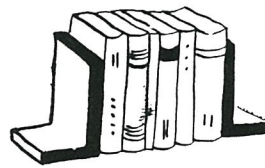


# 有線放送特別会計

予算規模は、前年当初と比較して十二、一パーセントの増加であります。

各経費の計上は、概ね五十三年度と同額であるが、財政基盤強化のため財政調整基金への積立金を増加した。



## 有線放送特別会計

歳入 (単位千円)

款	昭和54年度		昭和53年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	率
1.事業収入	22,267	96.4	20,053	97.4	2,214	11.0
2.分担金及び負担金	1		2		△ 1	△ 50.0
3.県支出金	131	0.6	126	0.6	5	4.0
4.財産収入	100	0.4			100	皆増
5.繰入金	1		1			
6.繰越金	100	0.4	100	0.5		
7.諸収入	500	2.2	318	1.5	182	57.2
歳入合計	23,100	100.0	20,600	100.0	2,500	12.1

歳出 (単位千円)

款	昭和54年度		昭和53年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	率
1.総務費	15,347	66.4	14,696	71.3	651	4.4
2.施設整備費	3,383	14.6	3,191	15.5	192	6.0
3.積立金	3,500	15.2	2,300	11.2	1,200	52.2
4.予備費	870	3.8	413	2.0	457	110.7
歳出合計	23,100	100.0	20,600	100.0	2,500	12.1

# 松田町の茶園組合を訪ねて

### 二又 大木浅治郎



方で計画実施したものです。

レンタカーで東名高速より松田町に入る高台より見渡せば、山ふところを抱かれた、カラフルな建物が立ちならび、まるで新生都市と言った息吹きが感じられました。

しかし、我々の行く先は戦後合併された、山、又山の山村僻地です。

カーブの多い一本道で、一步運転を誤れば千刃の谷底に落ちかねない、スリル満点の道です。

暫らく行くと坂も下り坂になり谷

川を渡り、やっと目的地の寄西協同製茶工場に到着いたしました。大柄な日焼けした組合長以下作業員の、笑顔の出迎えを受けました。

工場内は清潔な明るい能率的な機械設備でした。それにもまして、作業員の方々は中高年の人達ですが、とても明るく人なつこくて、私達の下総弁とそっくりで、十年

来の知己の如くお話ができました。そして、ヤブキタの新茶を腹一杯ご馳走になってから、組合長の案内で、農林大臣賞に輝く茶園畑に向いました。

約、車で十分位だそうですが、途中谷川の両側に人家があり、植

付まもない小さな水田と、段々畑の茶以外、他作物は全然見あたり

ません。

まもなくいくと山の中腹にある茶園に到着、面積は、静岡や狭山茶の生産地とは比較にならぬ小面積です。

それでもさすが組合長の茶園は草一本なく、すばらしく立派でした。特に、土作りと、深耕薬剤の散布と多肥と言った月並みの話ですが、明治生れと思われる高令にもかかわらず、率先垂範リーダーとしての貫録がにじみでていました。

帰りに養殖鱒の釣堀のあるドラ

町に招待された時のことを、明るい町造りに努力している当時の町長さん始め関係者のことを非常にほめながら懐しうに話されてい

ました。

私は、この視察に参加し、松田町の印象に残ったことは、谷川を流れるきれいな水に釣糸をたれる家族づれが多く、今後は、観光面で発展されるように思われました。

日帰りの視察ではありましたが、松田町組合員のみなさんの暖かいもてなしに参加者一同は感謝しつつ、貴重な視察研修をさせていただきました。

※握手する老リーダーは

去りがたく、眼鏡の奥に

光かる一筋

※人間味溢れるリーダーは

過疎守る 別れのバスに

帽子ふりつつ

## 広報係から



広報係では、みなさんからの投稿を、お待ちしております。

町内のニュース、町への希望等

ささいなことでも結構ですので、

どしどし投稿してください。有線での連絡は、二一四一〇一へお願いします。